

「まちやど」の併設施設の設置意図と効果
その1：併設施設の基礎情報の整理

正会員	○有原千尋*1	正会員	北島陽貴*5
同	今泉優希*2	同	重山隼人*5
同	藪谷祐介*3	準会員	梶田美結*6
同	栗原稜*4		

分散型ホテル ツーリズム	まちづくり 地域活性化	アルベルゴ・ディフーズ 観光
-----------------	----------------	-------------------

1.序章

1-1.研究背景・目的

近年、地域活性化に寄与する取組の一つとして「分散型ホテル」が注目されている。「分散型ホテル」は「地域内にフロント機能や客室棟を分散させたり、飲食提供機能を地域の飲食店が担ったりすることで、町や村全体が1つの宿泊施設となって来訪客を迎える形態」¹⁾である。代表的な事例としてイタリアで提唱されたアルベルゴ・ディフーズ(以下、AD)がある。ADでは飲食サービスを伴う食事処、レセプション、共同スペース、喫茶やバーコーナーなどの施設が設けられていることが認定条件であり、宿泊以外の機能も重要視されていることが伺える。「分散型ホテル」が国内でも広がりを見せるなか、2017年には「一般社団法人日本まちやど協会」(以下、協会)が設立し、まちを一つの宿と見立てる形態²⁾として「まちやど」が定義された。協会に所属している「まちやど」の大半が宿泊以外の機能を含み構成されていることが明らかにされている³⁾。

本研究において上記のような宿泊以外の機能のうち、宿泊施設の経営者によって運営され、宿泊者や地域住民などが共用で使用できる施設や設備のことを併設施設と定義する。併設施設が「分散型ホテル」において重要視されている一方で、「分散型ホテル」とともに運営されている意図や効果は明らかにされていない。そこで本研究では、「分散型ホテル」でも、特に国内事例が多く運営主体が多様である「まちやど」を研究対象とし、併設施設を設置した意図とその効果を経営者の運営意識から明らかにすることを目的とする。なお本研究は2編で構成され、本編では「まちやど」が有する併設施設の構成に加え、宿泊形態や料金などの基本情報を整理し、それらの関連性を考察することを目的とする。

1-2.調査方法

協会に加盟している24件(2023年3月時点)の「まちやど」について、事業者名、エリア、コンセプト、併設施設、宿泊形態、料金、事業開始時期、使用建物の観点から調査し、表1にまとめた。協会HPや各「まちやど」HP、協会が発行する「日常」⁴⁾を始め、「まちやど」経営者へのインタビュー記事などを参照した。

2.調査結果・考察

2-1.「まちやど」の併設施設の特徴

併設施設を設けていない「まちやど」は3件のみであり、併設施設を有する割合が高いことが確認できた(表1)。

併設施設のうち、飲食(13)、ラウンジ(10)、共有キッチン(10)、レンタル・ワークスペース(6)、展示販売(5)の5つが多くを占めた(○内の数字は「まちやど」の数を表す)。そのうち、飲食機能を有する「まちやど」が過半数を超え、重要視されていることが示唆される。「まちやど」に設けられている飲食機能は全て宿泊者以外も利用することができ、飲食を介して地域に開く場となっていることが推察された。一方、リビングやキッチンなど宿泊者のプライバシーを保つ必要がある併設施設については宿泊者のみが共有で使用する場合は9件で多かった。ラウンジや飲食店など宿泊者以外も出入り可能な併設施設を設けている「まちやど」が16件と過半数を超えることが明らかとなった。

2-2.項目別分析と併設施設との関連性

宿泊形態、宿泊料金、事業開始時期、使用建物と、併設施設の関連性についてまとめ考察する。

「まちやど」の宿泊形態は、ドミトリと個室をもつものが9件で最も多い。また、ドミトリをもつ10件の宿のうち8件(うち1件は不明)には宿泊者以外の人も利用することが可能な併設施設を設けられており、地域住民などにも開かれていることが示唆された(図1)。また、一棟貸切の宿には併設施設の数や種類が少なく、これは宿泊者で共有する施設が必要ないためであると推察する。

宿泊料金は、10,000円以下の「まちやど」が17件で過半数を占める(図2)。加えて10,000円より高い「まちやど」には併設施設が少なく、これは宿泊料金が比較的高価だと宿泊形態が一棟貸切などの場合が多くなるからであると考えられる。一方少数ではあるが、宿泊料金が比較的高価な宿に設けられる併設施設としては、地域住民なども利用可能なラウンジやギャラリー、飲食店が多い傾向が見られた。事業開始時期は2015年と2018年が多い傾向があり、これは2015年頃からインバウンドが増加し始めたという社会背景と、2018年の一定の要件を満た

表1 「まちやど」基礎情報の整理

事業名	エリア	コンセプト	併設施設構成	宿泊形態	料金	事業開始時期	リノベーション用途
LOBBY	石川県山中温泉	山中温泉を楽しんでいたことに	(宿泊) (交流カフェ)	一棟貸切	¥5,001-10,000	-	戸建て
ちみぶたい Guesthouse,Cafe&Bar	埼玉県川越	つながる・たのしみ・ひろがる	(宿泊+カフェラウンジ+レンタルシャワー+ゲストラウンジ+ゲスト用キッチン) (レンタルスペース)	ドミトリー 個室	¥5,001-10,000	2018	古民家
上州富岡、まちの旅館、旅館	群馬県富岡	-	(宿泊) × 2	一棟貸し	¥5,001-10,000	2019	古民家
古民家の宿 幸嘉庵	京都府西舞鶴	-	(宿泊)(宿泊+リビング+ダイニング+キッチン)	ドミトリー 個室	¥5,001-10,000	2016	古民家
門司港ゲストハウス ボルト	福岡県門司港	旅の疲れを癒やし、新たな船出を見届け、旅人たちの港。今、町家を楽しむ暮らしを旅する	(宿泊+セレクトショップ+リビングスペース+カウンター+キッチン)	個室	¥1,000-5,000	2019	木造3階建ての元旅館
奈良町宿 紀寺の家	奈良県紀寺町	-	(宿泊) × 5	一棟貸し	¥20,001-25,000	2011	古民家
ユクオオすみ海の学校	鹿児島県鹿屋市	-	(宿泊+食堂・カフェバー+BBQ場+シェアオフィス+レンタルスペース+体育館+キッズスペース)	ドミトリー 個室	¥1,000-5,000	2018	小学校
AREA INN FUSHIMICHO FUKUYAMA CASTLE SIDE	広島県福山市伏見町	ディープな日常を渡る福山から始まる瀬戸内の旅	(宿泊) (宿泊) (コワーキングスペース+カフェラウンジ)	ドミトリー 個室	¥1,000-5,000	2018	ビル
喫茶、食堂、民宿、なごのや	愛知県円頓寺商店街	人と文化の出会い。	(宿泊+喫茶+食堂+キッチン+リビング+ダイニング) (宿泊+ラウンジ)	ドミトリー 個室	¥1,000-5,000	2015	商店街の一部
真鶴出版	神奈川県真鶴	泊まれる出版社	(宿泊+ショップ)	一棟貸し	¥15,001-20,000	2015	古民家
Sana Inn Town	和歌山県和歌山市真田堀	小さな商店街を宿場町に。	(宿泊+ラウンジ)	ドミトリー 個室	¥1,000-5,000	-	商店街の一部
HOTEL & CAFÉ NUPKA	北海道帯広	十勝の大自然と街を旅するふたつのホテル	(宿泊+カフェバー+ラウンジ+ショップ+ギャラリー) (宿泊+ラウンジ) (ラウンジ)	ドミトリー 個室	¥10,000-15,000	2016/3「HOTEL NUPKA」 2019/4「NUPKA ONNAY」 2021/4「NUPKA Hanare」	ビル
meinn	岩手県花巻	まち一つなぐーやど	-	ドミトリー 個室	¥1,000-5,000	-	-
HOUSEHOLD	富山県水見	「正面玄関」の観光ではなく、「勝手口」から始まる旅	(宿泊+喫茶+キッチン+ギャラリー) (ワークスペース)	個室	¥10,000-15,000	2018/7「宿泊棟」 2021「ワークスペース」	ビル
FUJIYA HOSTEL	鹿児島県鹿島	鹿島の日常に渡す小さな島宿	(宿泊+ダイニング+物販スペース)	個室 一棟貸し	¥5,001-10,000	2018	古民家
BED AND CRAFT	富山県南砺市井波地域	-	(宿泊) × 6 (ラウンジ+レストラン)	一棟貸し	¥15,001-20,000	2016	古民家
SMALL TOWN HOSTEL Hakodate	北海道函館市西部地区	暮らしを見つめる宿	(宿泊+キッチン+ウッドデッキ+薪ストーブ)	一棟貸し	¥5,001-10,000	2017	ビル
仏生山まろくみ旅館	香川県高松市仏生山	-	(宿泊)	個室	¥5,001-10,000	2015	戸建て
Hostel and Dining "Tanga Table"	福岡県北九州市小倉	北九州をあげわう、旅のはじまり	(宿泊+キッチン+ラウンジ+ダイニング)	ドミトリー 個室	¥1,000-5,000	-	ビル
guest house MARUYA	静岡県熱海市	泊まると熱海がくせになる	(宿泊+ラウンジ+キッチン+カフェ&バー) (ワークスペース) (宿泊) × 2	ドミトリー 個室 一棟貸し	¥5,001-10,000	2015	ビル
シーナート一平	東京都豊島区椎名町	布で世界とつながりマシンでまちをつなげる	(宿泊+ラウンジ+キッチン)	個室 一棟貸し	¥10,000-15,000	2016	戸建て
hanare	東京都台東区谷中	the whole town can be your hotel	(宿泊) (カフェ+ラウンジ+ギャラリー+レンタルスペース+セレクトショップ)	個室	¥10,000-15,000	2015	木造アパート
葉日 inn	長野県松本	暮らしのように泊まる	(宿泊+書店兼喫茶)	一棟貸し	¥5,001-10,000	2013	ビル
Okazaki Micro Hotel	愛知県康生	ぼくらの「アングル」をきっかけに、岡崎のまちを捉えるマイクロホテル	(宿泊+バー+テラス+キッチン)	個室	¥5,001-10,000	2020	ビル

※1「-」は不明を示す。※2青は宿泊者のみ、赤は宿泊者・地域住民など問わず誰でも立ち入ることのできるものを示す。※3同()の中にあるものは同施設内に併設されていることを示す。

す場合には玄関帳場を設置しないことが可能になった旅館業法改正が影響していると考えられる(図3)。併設施設と事業開始時期の関連性は見られない。

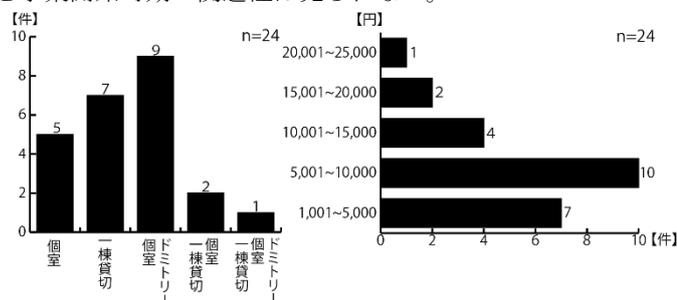


図1 宿泊形態

図2 宿泊料金

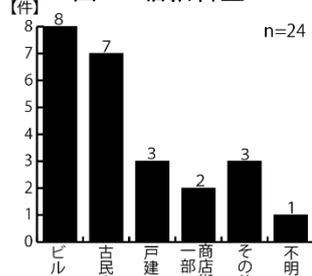


図3 事業開始時期

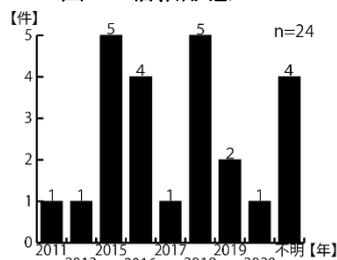


図4 使用建物

使用建物にはビル・古民家が多くを占めているが、併設施設との関連をみると、ビルを使用している「まちやど」に多くの併設施設が設けられている傾向がみられた(図4)。

3.まとめ

本稿では「まちやど」が有する併設施設の構成に加え、宿泊形態や料金などの基本情報を整理し、それらの関連性について考察した。併設施設を有する「まちやど」は21件にも上り、そのうち過半数が飲食機能を有していることが明らかとなった。また、宿泊料金や形態、使用建物が併設施設の構成に関係していることが示唆された。

参考文献・資料

- 1) 高岸洋行:「活気づく分散型ホテル 観光庁予算化で後押しするか・各地で進む事業計画」、『ツーリズムビジネス専門誌 週刊トラベルジャーナル』,トラベルジャーナル,株式会社トラベルジャーナル,第58巻,第12号,P.11,2021
- 2) 日本まちやど協会HP <https://machiya-do.jp/> (最終閲覧日 2023.03.26)
- 3) 岡崎織,坂本淳二:「ネットワーク型宿泊施設を核とする持続可能な地域再生の実態と課題に関する研究—まちやどの実態と取り組み—」,日本建築学会大会学術講演梗概集,pp.437-438,2020.9
- 4) 『日常』,一般社団法人日本まちやど協会,真鶴出版,2021

*1 公益財団法人金沢芸術創造財団

*2 株式会社ホリエ(シエルホームデザイン)

*3 富山大学学術研究部芸術文化学系 講師

*4 江寄建築

*5 富山大学人文社会学術総合研究科 大学院生

*6 富山大学芸術文化学部 学部生

*1 Kanazawa Art Promotion and Development Foundation

*2 Horie Corporation (ciel HOME DESIGN)

*3 Lecturer, Faculty of Art and Design, University of Toyama

*4 Ezakikenchiku

*5 Students, Graduate School of Humanities, Arts and Social Sciences, University of Toyama

*6 Undergraduate, School of Art and Design, University of Toyama